

2013年7月17日

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会加盟館 各位

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会研究会運営委員長校
名古屋学院大学 学術情報センター
センター長 岸田賢次
(公印省略)

2013年度東海地区協議会第2回研究会の開催について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこのたび、第2回研究会を下記の要領で開催いたします。皆様方にはご多忙中のこととは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

つきましては、参加の有無を別紙出欠票にて8月20日(火)までにE-mailによりご返信ください。

なお、今回はポスターセッション「学習支援につなげようセッション」【別紙3】を行います。ご参加いただける加盟館におかれましては、ポスターを作成し9月6日(金)までに、下記連絡先へE-mailでご送付ください。ポスターに関連する参考資料・グッズについては、当日ご持参くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

日 時	2013年9月18日(水) 10:30~16:40 (受付 10:00~10:30)	
会 場	名古屋学院大学 名古屋キャンパス白鳥学舎 翼館 303 教室 名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
交通アクセス	http://www.ngu.jp/outline/access.html	
キャンパスマップ	http://www.ngu.jp/outline/campus.html ※会場へは公共交通機関でお越しください。	
テーマ	「利用者の思考プロセスをどのように可視化するか〜 知識を組み立てるワークショップ」 ワークショップ内容【別紙1】・スケジュール【別紙2】参照	
対 象	加盟館に勤務する図書館職員(派遣・委託等を含む) ※東海地区大学図書館協議会(国公私)にもご案内しています。	
申込方法	【別紙4】の方法でお申込みください。 参加されない場合もお手数ですが、E-mailにてご連絡をお願いいたします。	
昼 食	各自ご用意いただくか、キャンパスレストランをご利用ください。	
連絡先	名古屋学院大学学術情報センター	担当者: 中田・山田
	E-mail	toshokan@ngu.ac.jp
	TEL	052-678-4092
	FAX	052-682-6826

研究会テーマ「利用者の思考プロセスをどのように可視化するか」

今、大学には“生涯学び続け、主体的に考える力を育成する”ことが求められています。図書館においても、従来からの情報源提供、探索手法等のガイダンスやパスファインダー作成などの情報リテラシー教育に留まらず、学生が主体的に学び、問題解決できるような学習プロセス全体にかかわる支援が必要とされてきています。

研究会では、今まで図書館ではあまり踏み込めていない、学生の思考プロセスについて考えてみたいと思います。学生が求めている“本当に知りたいことは何か”をレファレンスインタビューでキャッチし、そこから新しい知識を創造し、組み立て、未知の部分へと導いていく方法を、図書館員自身がワークショップを通して学び、これから必要とされる学習支援に役立てます。

(1) 第1回 「利用者のニーズをキャッチする」

日 時：2013年7月8日（月） 10：30～16：30

場 所：名古屋芸術大学 東キャンパス

内 容：講演 杉谷 祐美子氏（青山学院大学准教授）

ワークショップ 天野 由貴氏（椋山女学園大学図書館）

- ・卒業論文等にどのくらいの知識が必要なのかを明確にし、情報ニーズが定まっていない利用者に対し、レファレンスインタビューにより、情報ニーズを明確にしながら整理していく方法を学ぶ。

(2) 第2回 「知識を組み立てるワークショップ」

日 時：2013年9月18日（水） 10：30～16：40

場 所：名古屋学院大学 名古屋キャンパス

内 容：ワークショップ 天野 由貴氏（椋山女学園大学図書館）

- ・卒業論文等の研究テーマを決定するために概念地図（コンセプトマッピング）を用いて知識の構造化を体験すると共に、その探究のプロセスに必要な知識の分解・追加・既存の知識との統合・焦点化によって、研究テーマをどのように決定していくかというプロセスを同時に体験する。
- ・ワークショップにおいてワークシートを活用することで、利用者の思考を見える化することが、その利用者の探究プロセスを把握し、学習支援に最適なツールの選択と情報提供を戦略的に組み立てることに活用できることを体験する。
ワークショップは1グループ6名のグループ別で行い、最後に参加者全員で情報を共有する

2013年度私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会研究会第2回研究会スケジュール

- 10：00～10：30 受付（展示準備）
- 10：30～10：35 会場校挨拶（名古屋学院大学 学術情報センター長 岸田賢次）
- 10：35～11：50 テーマ「利用者の思考プロセスをどのように可視化するか
：知識を組み立てるワークショップ」
- 講 師 天野 由貴氏（椋山女学園大学図書館）
- 【ワークショップ1】
概念地図作成ワーク
質疑応答
- 11：50～12：50 昼食、ポスターセッション下見
- 12：50～13：40 ポスターセッション
「学習支援につなげようセッション」（各大学の実践紹介タイム）
- 13：40～14：55 【ワークショップ2】
知識の構造化ワーク①分解編
質疑応答
- 14：55～15：10 休憩
- 15：10～15：40 知識の構造化ワーク②統合編
- 15：40～16：40 まとめ・全体ディスカッション・質疑応答
- 16：40～ 図書館見学（希望者）
- ※図書館・ラーニングコモンズをスタッフがご案内いたします。

ポスターセッション「学習支援につなげようセッション」

研究会のテーマに関連して、各館の学習支援の取り組みを紹介するポスターセッションを行います。参加館におかれましては、ポスター作成にご協力いただけますようお願いいたします。

<目的>

他館の学習支援の事例を見ることができる場を提供する。さらに、参加者同士で情報交換・情報交流し、自館での取り組みの改善につなげる。

<ポスター作成>

1. 各館で実施している学習支援の取り組みのうち、工夫している、アピールしたい取り組みを1つに絞り、ポスターを作成します。
2. 授業に関連する取り組みに限らず、学生のために図書館利用で工夫している点でも結構です。また、このような取り組みを行っているが、改善するために参加者の意見を参考にしたいというポスターも歓迎します。
3. 添付の「ポスター展示フォーム」を使用して作成します。
フォームの「1. 目的」「2. 実施内容（アピールポイント）」「3. 成果・今後の予定など」のうち、「3. 成果・今後の予定など」の項目は必須ではありません。
各入力エリアの大きさは、文章量に応じて自由に変更してください。
参考：「ポスター展示フォーム（見本）」
4. ポスターはA4サイズ、カラーで作成、会場校でA3サイズに拡大し、掲示します。

●ポスター提出期限 9月6日（金）（メール添付）
Word とできれば PDF も一緒に送付してください。
●送付先：名古屋学院大学学術情報センター 担当者：中田・山田
E-mail toshokan@ngu.ac.jp
TEL 052-678-4092

<関連資料・グッズなど>

1. ポスターの取り組みに関連するパンフレットやグッズ、などがありましたら、当日ご持参ください。ポスターの補足資料が必要であればご用意ください。
当日は10時30分までに、指定の場所に展示してください。
2. 展示ブースの広さは1館あたり、会議机 1/3（約50cm×約60cm）程度です。
3. 研究会ではコピー等の対応はいたしかねますので、他館の事例が撮影できるようにデジタルカメラをご持参していただくことをお勧めいたします。

<当日ポスターセッション 12:50~13:40>

1. 当日は、参加館を3つのグループに分け、コアタイムを設定いたします。コアタイム中は自館のブース付近で待機し、その他の参加者の方は、他館の展示物を見学しながら意見交換をします。
2. 優れた取り組み、今後参考にしたいを基準に参加者全員で投票を行い、学習支援取り組みチャンプを決めます。

名古屋学院大学学術情報センター 宛

E-mail: toshokan@ngu.ac.jp

2013 年度第 2 回研究会出欠票

図書館名 _____

 参加する

氏 名	職 名	図書館在籍年数
		年
		年
		年
		年
		年

※図書館在籍年数はグループ分けの参考にさせていただきます。

 参加しない

送付先：〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号

名古屋学院大学 学術情報センター

担当：中田・山田

E-mail : toshokan@ngu.ac.jp*集計の都合上、E-mail に Word ファイルを添付いただき、ご回答お願いします。

多くの方のご参加をお待ちしております。

2013年度 第2回研究会参加者アンケート

本日はご参加いただきありがとうございました。
今後の研究会活動の参考とするため、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

該当項目の（ ）に○印をつけてください。

質問 1. 今回のテーマ設定はどうでしたか？

- ①（ ） 興味のあるテーマで適切であった
②（ ） 他の内容でやってほしかった
（具体的に： _____）
③（ ） その他

質問 2. ワークショップに参加して得るものはありましたか？

- ①（ ） 大いに得るものがあつた
②（ ） 得るものがあつた
③（ ） あまり得るものがなかつた
（具体的に： _____）
④（ ） その他

質問 3. 学習支援につなげようセッションは参考になりましたか？

- ①（ ） 参考になつた
②（ ） あまり得るものがなかつた
（具体的に： _____）
③（ ） その他

質問 4. 研究会の運営についてはどうでしたか？

- ①（ ） 特に問題なし
②（ ） 改善すべき点があつた
（具体的に： _____）

質問 5. ワークショップ・ポスターセッションの感想やご意見を自由にご記入ください。

質問 6. 今後の研究会運営の参考として、取り上げてほしいテーマをご記入ください。

差支えなければ、ご記入ください

所属： _____ 氏名： _____

ご協力ありがとうございました

このアンケートは 9 月 18 日（水）の第 2 回研究会当日に配布しますが、当日記入できなかつた方は、9 月 24 日（火）までに添付にて下記に送信いただきますようよろしくお願いいたします。

名古屋芸術大学附属図書館 担 当：太田 成夫 E-mail：lib-shg@nua.ac.jp

ACCESS

白鳥学園 SBIERDORI
 名古屋市熱田区熱田町(旧)25号
 ●徒歩「東山線」(西向き) 熱田5分徒歩約8分
 ●徒歩「東山線」(東向き) 熱田5分徒歩約8分

日比野学園 HIBINO
 名古屋市熱田区大宮三丁目(旧)17号
 ●徒歩「東山線」(日比野) 東5分徒歩約10分

周辺図



広域図



さかえサテライト SAKAE
 名古屋市熱田区大宮三丁目(旧)17号 中門ビル7F
 ●徒歩「東山線」(名鉄線) 東12分徒歩約13分徒歩入口より徒歩約10分

名古屋学院大学 名古屋キャンパスマップ

白鳥学園

- 学生センター
- 学生ホール
- 学生食堂
- 学生寮
- 学生バス
- 学生自転車
- 学生バス
- 学生自転車

日比野学園

日比野キャンパス	
1F 学生センター	2F 学生ホール
2F 学生食堂	3F 学生寮
4F 学生バス	5F 学生自転車
6F 学生バス	7F 学生自転車
8F 学生バス	9F 学生自転車
10F 学生バス	11F 学生自転車
12F 学生バス	13F 学生自転車



地下鉄名鉄線
日比野駅南口入口より徒歩



日比野キャンパス	
1F 学生センター	2F 学生ホール
3F 学生寮	4F 学生バス
5F 学生自転車	6F 学生バス
7F 学生自転車	8F 学生バス
9F 学生自転車	10F 学生バス
11F 学生自転車	12F 学生バス
13F 学生自転車	14F 学生バス
15F 学生自転車	16F 学生バス
17F 学生自転車	18F 学生バス
19F 学生自転車	20F 学生バス

日比野キャンパス	
1F 学生センター	2F 学生ホール
3F 学生寮	4F 学生バス
5F 学生自転車	6F 学生バス
7F 学生自転車	8F 学生バス
9F 学生自転車	10F 学生バス
11F 学生自転車	12F 学生バス
13F 学生自転車	14F 学生バス
15F 学生自転車	16F 学生バス
17F 学生自転車	18F 学生バス
19F 学生自転車	20F 学生バス

日比野キャンパス	
1F 学生センター	2F 学生ホール
3F 学生寮	4F 学生バス
5F 学生自転車	6F 学生バス
7F 学生自転車	8F 学生バス
9F 学生自転車	10F 学生バス
11F 学生自転車	12F 学生バス
13F 学生自転車	14F 学生バス
15F 学生自転車	16F 学生バス
17F 学生自転車	18F 学生バス
19F 学生自転車	20F 学生バス